

2022年 5月・6月

143号



ようやくコロナがもたらしたご時世もちょっと落ち着いたところで2年間延期になった印日文化祭が2022年4月3日、ラビンドラー・オカラ・ババン文化交流センターにて行われました。同時に全プログラムはネットで放送されました。なかなか会えなかった皆さんとまた会える日がすぐく楽しみで、この盛大なイベントを堪能させていただきました。

最初に生徒や先生や企画者たちがこの数年厳しい時勢に阻まれず遣りこなした事と経験の動画が鑑賞しました。次はジャパン・ハッパがスポンサーになった素晴らしい打楽器演奏でした。演奏者はタンモイ・ボースの生徒で両国の伝統的な打楽器「太鼓」と「タブラ」で迫力のある音が交じり合った独特な演奏でした。

続いて、日本語会話協会会長のプーナム・ナンド・デーさんと在コルカタ日本国総領事の山崎松太郎さん、賓客として足を運ばれたコルカタ日本人会会長の本田毅さんによるスピーチでした。本田さんはベンガル語で自己紹介して京都とコルカタ市の似てる要素について話されました。

「ももたろう」という昔話を生徒達が素晴らしく演じました。ウドバス・サーカーさんが日本語と英語で俳句を詠み上げ、司会者のアナバブ・ブハダリーさんとナムロター・モンダルさんが視聴者と楽しく接して場を盛り上げました。アナッシュカー・サーハーさんの歌声が会場に響いて皆さんを感心させました。「詐欺師の聖人」というドラマに笑いを堪えられなかった視聴者さん。ランジニー・ナグさんのダンスも素晴らしかったです。

先生方による「自分の日本語に気をつけて!」という演技で会場が再び爆笑で満ちました。続いて、「夢」というバンドがステージに上がり、活き活きたパフォーマンスで会場を揺らしました。パフォーマンス後アンコールの大歓声が聞こえました。

最後にNKKメンバーがNKKSの歌を合唱し、NKKSの副会長アンジャナ・パナージーさんの閉会の辞で幕を閉じました。今年の印日文化祭も楽しく、知らない日本文化を知ることができて、すごく勉強になりました。また来年が楽しみです。

デプリナー・ダス | 和訳：ハーシト・シャハ

インタビュー



自己紹介と学歴：プラティヤイ マリックと申します。コンピュータサイエンスの卒業生でコルカタのIT会社で働いています。

いつ日本語を勉強し始めましたか：日本語を勉強するきっかけは翻訳されてないゲーム、漫画やその他の作品を楽しむためでした。R K Mの学生だった友達からJ L P Tのことを紹介されました。でもその頃は若くて学校の勉強で手一杯だったので、日本語の授業を受けられなかったです。だから自分で習うしかない決めました。

NKKSとの関わり：NKKSと最初に出会ったのは2016年に行われた「印日文化祭」でした。NKKSに関わりたくて協会に入会し、「IJSC」にも参加しました。コルカタで行われた第22回と東京の23回の会議に参加させていただきました。パンデミックの頃に行われた複数のオンラインイベントで「イベント実行チーム」の一員として生配信の手助けをしました。

日本人に関する経験：東京でのホームビジットでお世話になった家族はすごく親切でした。お好み焼き、冷やし麺、だし巻き卵などの和食を美味しくいただきました。それと近所の和菓子屋にも連れて行ってくれました。IJSCで日本の学生で趣味が似ている友達をたくさん作りました。

日本旅行の経験：日本のきれいな道や電車は今でも時々目に浮かびます。人生初めての歌舞伎ショーを観て、皆とカラオケにも行きました。秋葉原の中古品店とレトロゲームショップにも行きました。「ニンテンドー3DS」と色々な物を買ったのであいに僕らの財布が空っぽになってしまいました。。

趣味：趣味はRPGやFPSゲームをすることです。

インタビューの方：アローク・パス | 和訳：プラティヤイ・マリク



読者の皆さんへ

この人生という旅では変化こそ不変であります。「桜」も2000年に初めてから、いろいろな変化を受け続けながら、進化を遂げてきました。

では、この22年間の美しく長旅を祝うのに今月から「桜の旅路」という

新コラムを紹介しています。

～編集部

桜

2000年5月号

NKK looks up in the New Millennium

On 29th April, 2000 the 16th Annual General Meeting of Nibongi Kyooka Ayokai took place at 10, Raja Bhadanta Roy Road, Calcutta - 700026. The meeting was attended by an overwhelming gathering of our members supported by the Executive Committee members of the previous year. In the meeting the new body of Executive Members was formed after discussing with the Chief Patron, our Senpai in front of all the members present there. Apart from the formation of the new Executive Committee a separate Steering Committee was formed. The role of this committee is the right path and show the lights of better management. This committee consists of those very matured old members.

The Executive Posts for the New session (2000-2001)

Chief Patron	President	Vice President	General Secretary	Treasurer

Executive Committee members without posts

- Mr Jayanta Saha
- Mr Asim Bose
- Mr Suman Nath
- Mrs Poonam N. Dey
- Mrs T Chatterjee
- Mr Arunava Ray

NKK bids farewell to Mr. T. Yuasa and Welcomes Mr. T. Kawamura

NKK bid farewell to Mr. T. Yuasa, the going out Vice-Consul, Consulate General of Japan, Calcutta on 22nd April, 2000 at Jadavpur University. Mr Yuasa has encouraged us and showered us with good wishes. Our members present in the meeting expressed their closeness with Mr Yuasa. He was felicitated with a bouquet and gift. The meeting was followed by snacks.

On 6th May, 2000 members of Nibongi Kyooka Ayokai had the opportunity to welcome the present Vice-Consul, Consulate of Japan, Calcutta, Mr Takashi Kawamura at 53/1/2, Hazra Road. The members of NKK related to him the activities and vision of NKK. Appreciating the activities of NKK, Mr Kawamura assured that he would extend his full support whenever NKK required and encouraged the members to continue with their activities. In his informal speech he expressed his happiness to learn about such an organisation.

Members of the Steering Committee

- Mr Hitendra N. Chowdhury
- Dr S Biswas
- Mr P K Mitra
- Mr Santosh Banerjee

Mohan Ghosh leads next IJSC

It was decided on 6th May, 2000 at the First Executive Committee meeting that Mr Mohan Ghosh would be the absolute in-charge of the 4th India Japan Students Conference. Mr Ghosh will select his own committee in consultation with NKK Executive Committee.

Programme for May and June '00

Date	Time	Venue	Activity
27-4-00	5:30pm	Holddia Temple*	Annual Exam Guide on Kanji
16-6-00	5:30pm	do	Examination Guidance on Grammar(Bumps)

SAGARIKA CATERERS
For Good Quality Food and Services

Sagarika Caterers
16, Laxadi Hanuman Lane
Calcutta - 700 083
Ph: 98310 09556
351 1906

[こちらで読む](#)

にほんごはつげん 日本語発音ワークショップ



3月20日、NKKSは日本語の発音に関するオンラインワークショップを開催し、陽気なディプロ ベナルジーさんがホスト役を務めました。

ワークショップは、ディプロさんが外国人（ヤバタンさん）の面白いビデオを見せながら、英語のアクセントで話す日本語がどう違うかを紹介することから始まりました。

次にもう一人の外国人（ドゲンさん）のビデオを見せて、日本語がいかに自然に聞こえるかを教えてくれました。

そして、日本語の発音の中で最も苦労する部分"高低アクセント"について説明しました。ディプロさんは、高低アクセントの種類とその違いについて、たくさん例文を交えて紹介しました。このセッションのおかげで私たちの日本語の発音の知識を大いに深め、日本のさまざまなアクセントや方言を簡単に理解することができました。

- リヤ | 和訳：ロビンソン・ゴゴイ

5月・6月プログラム

2022年5月15日：漢字は面白い | 午後6時
| パンバ先生～

2022年6月4日：デジタルツールでJLPTの
復習 | 午後7時～ | ソハム・パルさん～

[登録はこちら](#)

登録締切：2022年6月2日

ジャパンパヴィリオン



コルカタの街は2022年2月28日から3月13日まで二年ぶりに行われた第45回コルカタ国際ブックフェアで魅せられた。コルカタの日本国総領事館はザジャパンカレーと協力して、見に来た入場者の皆さんに日本を紹介することを目的で日本パヴィリオンを作った。

一ヶ月くらい前から準備が始まり、ある日、日本国総領事館とザジャパンカレーのメンバーの方々と一緒に私も招待された。中村総領事夫人が折り鶴を教えて下さり、他の素晴らしい折り紙も見せて下さった。感動のあまり中村さんを自分の折り紙の先生にした。

日本パヴィリオンは日本文学と文化の混合の場所だった。ベンガルの作家が書かれた日本に関する書籍、古典的の民話と折り紙などに関する本も特集した。訪問者の経験を高めるためにパヴィリオンで日本人形の展示会、日本語と関連した楽しいゲーム、合気道の紹介、カラオケ、コスプレ、音楽演奏、書道などいくつかのイベントがあった。ブックフェアの間にほぼ毎日法被の試着会、剣玉ゲーム、読書クラブ、折り紙のセッションが開催された。

個人的な意見として、このパヴィリオンがブックフェアで一番楽しい場所だと思った。パヴィリオンの中は小さな桜の花で飾られ、折り鶴のチェーンでディスプレイパネルの魅力が高められた。

ガルギ・デー | 和訳：シュレヤ・ボース

ときは金なり

ウェアチャル世界から戻って
良かった！3月13日に
行われたNKKSの
ピクニック！



ワード・グリド

- ソハム・パル

つづ か
綴り替え - 5月・6月

- ソントウ・デブナト

ぞ	づ	そ	ま	ん	ぎ	や	ぼ	れ	ろ	ぶ	ま
ん	や	が	や	が	や	づ	ろ	う	ん	で	び
ぎ	み	ほ	で	た	ん	こ	ご	か	け	な	う
い	ず	う	よ	ん	ば	で	い	わ	か	ん	か
ち	い	う	ぼ	ぞ	と	の	び	お	い	れ	ぎ
と	こ	す	ち	じ	べ	う	り	ぎ	だ	ど	ゆ
そ	て	そ	く	め	ん	や	ぶ	し	ん	ふ	ほ
い	ご	ち	か	わ	か	す	へ	つ	ほ	む	ろ
じ	ぐ	め	べ	き	る	る	び	み	け	ぶ	れ
べ	な	れ	い	ご	ぞ	ん	じ	お	か	る	て
た	え	り	う	め	ゆ	こ	ん	か	い	づ	き
ひ	に	わ	あ	ぶ	い	ん	ろ	し	に	げ	き

しじ よんもじ ことば すく ござが
指示：四文字の言葉を少なくとも10語捜してください。横、縦、斜めでもいい！

こたえ
2022年3月・4月のワード・グリドの答

つ	かんばい	ま	ろ	ぶ	び	ペ	で	ペ			
ぶ	ぶ	ろ	ぜ	じ	く	あ	ぶ	つたえる			
か	ぜ	む	む	わ	ぼ	き	ま	ぞ	く	お	け
ん	ど	こ	ね	だ	き	つ	へ	あ	ぎ	ペ	せ
か	び	ペ	だ	せ	ば	きる	が	た	が	た	
ん	ぞ	し	し	ば	ず	べ	ほ	つ	は	と	ふ
す	え	ぐ	ん	ね	び	の	い	ど	る	に	ぬ
な	へ	な	さ	じ	ほ	い	ぶ	ま	こ	あ	で
ま	ろ	が	る	ぞ	る	と	び	に	ご	あ	つ
え	り	こ	を	ほ	も	つ	こ	ち	え	ろ	で
む	は	よ	ば	だ	ど	う	ち	め	ひ	ぐ	す
き	ば	ぶ	ち	め	ず	ろ	じ	ろ	じ	ろ	も

1. しぎななふ (seven wonders)

2. やしろこ (professional killer)

3. じょうびょう (patient's condition, pathology)

4. るしじや (arrow, symbol)

5. るかえきお (to replace)

このことわざは
なんですか。

ことわざは？

つづ か ことわざ
綴り替えの答 - 3月・4月

1. いったん
2. せきにん
3. にちようひん
4. きようかしよ

Kotowaza: 「いっせきにちよう」

Meaning: "to kill two birds with one stone"

ビデオを見るために QR
コードを使用してください！

ボックス・フェアでの浴衣ウォーク



<https://shorturl.at/ckxN2>

だい かいいにちぶんかさい
第37回印日文化祭



<https://shorturl.at/vx1J0>

BOOK POST

If undelivered please return to:
 NIHONGO KAIWA KYOOKAI SOCIETY
 2B, SHIVANGAN 53/1/2, HAZRA ROAD
 KOLKATA - 700 019